

## 温室効果ガス排出状況報告書(2)

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

#### (1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は管理者の氏名)	文京シビックセンター 文京区長 成澤 廣修
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都文京区春日一丁目16番21号

#### (2) 事業所の概要

事業所の名称		文京シビックセンター		
事業所の所在地		文京区春日1-16-21		
業種等	事業の業種	分類番号	R96 R:公務'他に分類されない ▼ 地方公務 ▼	
		産業分類名	地方公務	
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類 <input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務	
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設 <input checked="" type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設 <input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設	
			<input type="radio"/> その他 ( )	
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		区庁舎（消費生活センター、障害者会館等区民施設含む）57,910㎡ 都税事務所、郵便局等公共的機関 3,600㎡ 響きの森文京公会堂 16,680㎡ その他（商工会議所、レストラン、喫茶ほか） 2,300㎡ 計 80,490㎡		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		11,324	㎡	
建物の延べ面積		80,490	㎡	

#### (3) 担当部署

計画の担当部署	名称	文京区施設管理部施設管理課	
	連絡先	電話番号	03-5803-1162
		ファクシミリ番号	03-5803-1339
		電子メールアドレス	<a href="mailto:b570500@city.bunkyo.lg.jp">b570500@city.bunkyo.lg.jp</a>
公表の担当部署	名称	文京区施設管理部施設管理課	
	連絡先	電話番号	03-5803-1162
		ファクシミリ番号	03-5803-1339
		電子メールアドレス	<a href="mailto:b570500@city.bunkyo.lg.jp">b570500@city.bunkyo.lg.jp</a>

その2

(4) 排出状況報告書の公表方法

公表期間	平成20年7月1日 ~ 平成21年6月30日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: <a href="http://www.city.bunkyo.lg.jp">http://www.city.bunkyo.lg.jp</a>
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
		入手方法:
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度
---------------

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
5,561						5,561

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移

(単位:t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	6,034	5,762	5,423	5,561		
基準排出量 比増減率		5%	10%	8%		

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進捗状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

(前年度: 19 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
5,509						5,509

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	68.4 kg/m <sup>2</sup> ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	1,600 MJ/m <sup>2</sup> ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	5,921	5,699	5,363	5,509		
基準排出量 比増減率		4%	9%	7%		

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況

対策分類ごとの措置の進捗状況(実施の有無)	基本対策	<input type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて実施	<input type="radio"/> 一部実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし

目標対策による削減実績	推計実績削減量(目標対策分)	15 t-CO <sub>2</sub>
	推計実績削減率(目標対策分)	0.2%
目標削減率		0.3%

その3

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進捗状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
52						52

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	113	63	60	52		
基準排出量 比増減率		44%	47%	54%		

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の進捗状況

排出の抑制に係る措置の進捗状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況等についての総括等

平成19年度のCO<sub>2</sub>排出量は、基準年度のCO<sub>2</sub>排出量に対して7%の削減であり、前年度に対しては2.7%の増加となっている。この理由としては、電算機器の更新に伴う並行稼働により台数の増加(電力・冷房負荷)が考えられる。

一方、当事業所のエネルギー消費量は外気温度との相関性が高い。そこで外気温度によりエネルギー消費量を補正した場合のエネルギー消費量は対前年度対比で0.77%の削減と推定できる。従って省エネおよびCO<sub>2</sub>排出量は毎年削減されているものと考えられる。

(当年度以降の取組方針)

外気温度で補正した場合には、エネルギー消費量およびCO<sub>2</sub>排出量は削減されているが、対前年度よりもCO<sub>2</sub>排出量が増加したことから、新たに「ホールシステムの除湿再熱の停止」を追加し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を行う。

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置のスケジュール及び進捗状況(個表)													
対策No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	前年度末における実施状況	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					計画時の削減効果見込量(t)	進捗状況		延期理由及び今後の実施予定時期又は取りやめの理由	備考
				第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度		推計実績削減量(t)	推計実績削減率(%)		
1	直焚冷温水機・ボイラの空気比の調整	基本対策(運用)	▼	完了					15	15	0.30%		
2	冷水温度の設定変更	基本対策(運用)	▼		完了				35	35	0.60%		
3	冷却水温度の設定変更	基本対策(運用)	▼		完了				18	18	0.30%		
4	冷却水ポンプの台数制御	基本対策	▼		着手	実施	完了		34			技術的・経済的に困難なため取りやめる。別紙試算資料参照	
5	冷却水ポンプのマニュアルインバータ化(電算機系統)	基本対策	▼		着手	実施	完了		12				
6	蒸気バルブ等の断熱化	基本対策	▼			完了			34	20	0.30%		
7	室内温度の設定変更	基本対策(運用)	▼		完了				103	103	1.70%		
8	外調機の間欠運転による外気導入量の適正化	基本対策	▼			着手	実施	完了	76				
9	空調機の可変風量制御方式の導入(低層階)	基本対策	▼			着手	実施	完了	45				
10	省エネファンベルトへの更新	基本対策	▼		着手	実施	実施	完了	16			計測の結果、省エネベルトの省エネ率が0.37%と小さいため取りやめる。計測結果参照	
11	擬音装置の設置	基本対策	▼				着手	完了	2				
12	照明器具をHFへの更新	目標対策	▼	実施	着手	実施	実施	完了	19	15	0.30%		計画の600台を更新したが、更にHF化を進める
13	電球型蛍光灯へ更新	基本対策	▼		着手	完了			3	3	0.10%		
14			▼										
15			▼										
合計									209	3.5%		計画削減量(t)	412
合計(うち目標対策分)									15	0.2%		目標削減量(t)	19

その5

8 中間報告書提出以降に追加した工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置のスケジュール及び進捗状況(個表)

対策No	対策の区分		対策の名称	対策レベル	追加年度	前年度末における実施状況	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					計画時の削減効果見込量(t)	進捗状況		備考	
	区分番号	区分名称					第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度		推計実績削減量(t)	推計実績削減率(%)	根拠資料	対策レベルの修正※
1	<input checked="" type="checkbox"/> 130100	空気調和の管理	除湿再熱の停止(ホール系統)	目標対策	19	完了			完了			57	57	1.00%	添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														再熱の停止 添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>														添付書類	<input type="checkbox"/>
合計											57	57		※指針に掲げる「基本対策」を「目標対策」とした場合にチェックする。		
合計(うち目標対策分)																



10 地球温暖化の対策の推進体制等に関する事項

(1) 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

平成13年7月に策定した文京区基本構想に基づき、「基本構想実施計画」を平成14年度、平成17年度に策定し、平成20年3月に平成20年度から平成22年度を策定したところである。平成17年度に策定した「基本構想実施計画」の安全で心地よい地球環境を作り、自然と共生し、持続可能な都市機能を整備していくことを継続し、平成20年度からはさらに「地球にやさしい環境」を9つの重点課題のひとつとして計画化した。この中の基本方針として、人と環境の調和の成果を未来の世代へと伝えていくことが私たちの責務とし、地球温暖化をはじめとするグローバルな環境問題こそ、私たちの身近な事から一つひとつ取り組むことが必要であり、地球にやさしい環境の実現をめざしていくとした。引き続き、地球環境に負荷をかけないような都市の暮らしを追求していく。

- ・ 地球温暖化対策の推進。（重点課題）
- ・ 循環型社会の形成の推進。（重点課題）
- ・ 地域における環境活動を支援する。
- ・ 緑や生物が生息、循環できる場を守り育てる。
- ・ 物資の再利用やごみの抑制など、できるかぎり環境負荷を抑制した社会を実現する。
- ・ 環境負荷の少ないごみ処理方法を積極的に導入するなどにより、その開発を支援する。
- ・ 清掃関連施設を整備するなど、資源循環社会への対応を図る。
- ・ 自然エネルギーなどの新エネルギー技術の導入を図る。

以上、重点課題とした地球温暖化対策及び循環型社会の形成の推進と基本政策を基に、これからも、温室効果ガスの排出抑制のためのさまざまな取り組みや総排出の目標を定め、実施計画を点検公表していく。

(2) 地球温暖化の対策の推進体制

